

**臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同
出生・発達分科会（第26期・第15回）
議事要旨**

1. 日 時 令和7年1月30日（木）9:30～11:20

2. 会 場 オンライン会議（zoom）

3. 出席者（五十音順）

高橋尚人、藤井知行（以上、会員）

神尾陽子、島 蘭 進、柘植あづみ、船曳康子、水口 雅、水野紀子、米村滋人（以上、
連携会員）

4. 議事録作成者 高橋 尚人

5. 議事概要

（1）連携会員（特任）の追加について

委員長より、笹月桃子氏の当該連携会員（特任）の就任が1月23日の幹事会で承認され、現在、手続きを進めていることの報告があった。

（2）意思の表出の申出書の検討と提出の承認

委員長の高橋が、作成した申出書案について一通り読み上げる形で説明を行った。その後、その内容について出席の各委員から修正等の必要な箇所等について意見が出された。

「最善の利益」基準でなく「尊厳」を重視する方が良いかも知れないこと、「社会的養護が必要な児」でなく別の表現が良いこと、「社会学系」でなく「人文社会学系」とすること、名宛人に「子ども家庭庁」などの医政担当者、「当事者」「社会市民」などを入れること、「意見交換の場」については「はい」とすること、日本生命倫理学会でも発表した方がよいこと等の意見が出された。また、内容については日本学術会議として発出すべきもので時間的にもまとめが可能と思われるという意見が出された。

以上の議論を踏まえ、これらの修正を委員長一任として行い、修正した申出書は提出して良いことが承認された。

（3）今後の日程

笹月氏の辞令発令が2月27日となることから、当初2月20日に予定していた発表は延期とし、新たに3月から4月にかけての日程で調整を行うことが承認された。

以上